Product Liability NEWS

jtdna 検索

10号

15.APR.2015

JTDNA®

【発行所】
特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会
〒982-0823　宮城県仙台市太白区恵和町 35-28
☎050-6865-5180　FAX：03-6915-5824
✉c-japan@jtdna.or.jp

2015 年、当協会は、最新の PL 対策を実践する専門家育成を強化します。！

このNPOは、2002年に「私たちが日本の取説を変えます！」のスローガンを掲げ、任意団体としてわかりやすさを最も重視した取扱説明書の普及に取り組みを開始しました。。2005年には特定非営利活動法人日本テクニカルデザイナーズ協会（JTDNA）となり、東京、仙台、大阪などを拠点に活動、この4月で10年を迎えました。

当協会では、製品に起因した事故を予防するために、デザイナー・技術者・弁護士・医療従事者・損害保険プロ代理店・主婦・学生ほか、多方面で活躍されている方々が参加しその予防対策の普及啓発活動に取り組んでいます。

当協会の推進する取扱説明書ガイドラインや最新PL対策を利用頂き、製造・流通小売事業者などで多くの実績を積み上げました。2011年のシンポジウムでは、日本ではおそらく初めて「誤使用と取扱説明書の関係」について、設立間もない消費者庁、そしてNITEからご登壇頂き、意見交換を行いました。それ以後、当協会の基準に基づいた取扱説明書が、事故予防、特に誤使用による事故の防止に有効であることが確認され、取扱説明書の改善を通し、社内意識の改革、消費者への説明責任の達成が、クレーム減少、売り上げ向上に大きく寄与することが確認されています。

更に、当協会の主たる事業である「PL検定」は、大学での採用、製造業、大手通信販売事業者などで、利用されています。例えば社員の知識確認、品質管理などでの活用、大学での単位認定にも採用され始めています。

本年4月1日、大羽宏一大分大学名誉教授が会長となり一般社団法人PL研究学会が設立され、製品の安全に関わる本格的研究が開始されます。7月4日（土）には、千葉工業大学にて総会が開かれる予定です。当協会で進めて参りましたPLの研究は、この学会に移行し、当協会はその研究成果を実務に反映するための活動に専念します。当協会は「検証プログラム」を活用し、PL対策の取り組みを評価・検証のできる専門家育成に力を注ぎます。テクニカルデザイナー、PLアドバイザー、そして両方の資格を有するインストラクターにより、最新のPL対策（製品事故予防・事故発生後対策・リコール対策）を通し、事業者と消費者の良い関係を構築するための活動を行ってまいります。

本年度より新体制になりました。

会長
渡辺吉明　一般社団法人 PL 研究学会副会長

代表理事
山岸義彦　東北工業大学非常勤講師、(一社)PL研究学会監事

常任理事
渡辺欣洋　一般社団法人PL研究学会事務局長
田上哲也　有限会社JIBURU　代表取締役

理事
柘植由秀　作曲家　日本音楽著作権協会正会員
長谷川博彰 静岡大学客員教授、(資)創慧研究所 代表取締役
長岡信治　三条金物卸商協同組合理事長
建部真一　一般社団法人日本お助け隊理事

監事
山岸和子　一般社団法人宮城県助産師会理事

事務局長
秦　優子

連絡事務所
東京連絡事務所　東京都板橋区氷川町 47-1-001
大阪連絡事務所　大阪府大阪市住之江区南港北 2-1-10

本部　〒982-0823　宮城県仙台市太白区恵和町 35-28

INDEX

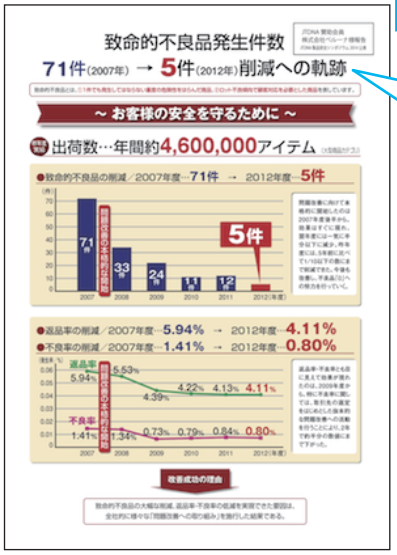
1ページ・・・・2015年の JTDNA 事業の柱
2ページ・・・・当協会会員の PL 対策取組み成果
3ページ・・・・PL 検定のご案内
4ページ・・・・取説の検証・エビデンスの発行

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2015 年 4 月号

当協会会員の PL 対策の取り組み成果

行政の製品安全の取り組みが進みその動きなどにともない、企業からの相談が増えています。 製品安全の取り組みについて、 企業規模や企業の業態、 社内の問題意識の差異などにより、 協会へのお問い合わせ相談は、 認定事業者やインストラクターなどが、 具体的に対応しています。 大企業から地域の小規模事業者まで、 具体的成果が報告されており、 そのいくつかの事例を紹介します。



致命的不良品が激減！

当協会正会員中心になり社内の改善に取り組んでいる大手通販会社株式会社ベルーナ様の致命的不良品の発生件数に関するデータです。
当協会が積極的に支援し問題改善に取り組んだ結果、発生件数、返品率共に劇的に改善していることが分かります。

取扱説明書の改善相談

インストラクターや認定事業者により、 当協会の取扱説明書検証プログラムを活用し、 事業者ごとに異なる問題解決に向けて実績を上げています。 特に認定事業者が共有して、事業者の大きな負担となっている取扱説明書の長期的な保管や品質維持などに対応しています。

返品・クレーム・事故などの低減

大手小売、特に大手総合通信販売事業者の（株）ベルーナ様にて、 デザイン担当者が当協会の取扱説明書ガイドラインに則り大型家具などの取扱説明書の見直しをした結果、劇的なクレームなどの減少と、 全社を挙げて製品安全対策の取り組みが行われるようになりました。 これらの成果は社長からも高く評価され、 昨年度は経済産業省の製品安全対策優良企業表彰を受賞、 今年も更なる取り組み強化を進めています。 品質管理部署でも担当者が PL 検定2級に合格、 当協会のインストラクターとして認定されているデザイナーの指導のもと、 製品採用などの基準に当協会の検証プログラムを活用しています。 右上のグラフは製品安全対策優良企業表彰のプレゼンに使用されたもので、 劇的な効果を物語っています。

製品事故対応やリコール体制を強化する

製品事故が起きた時の対応力は、 その後の会社の経営そのものに大きな影響を与えます。 従来のように「責任回避の手段」はすでに通用しません。 製品事故発生後対策の中でも特に「初期対応」はその後の企業負担に大きく影響します。 その際に必要な取扱説明書の質が悪ければいかなる言い訳も通用しません。 さらにリコールにおいては、TDK の事例では、社告などの効果は60%で頭打ちになり、費用対効果が見えなくなり、 実際に回収も限界になっています。 リコールでは、 実使用者の特定が重要であり、 既に賛助会員が具体的に取り組みを開始していますので、 取扱説明書の有効利用事例をご紹介します。

QR コードを利用したリコール対策

当協会の取扱説明書ガイドラインに則り、 さらにモバイルコンテンツ最適化を行った取扱説明書を実使用者に届ける、またリコールなどの際も、 実使用者に製品の本体表示の QR コードを介してリコール情報を伝えることができるサービスを開始しました。 当協会会長が2年間の調査研究を、JAN コードを所管する（一財）流通システム開発センター国際部の協力を得て開発した、 モバイルを利用した最新の PL 対策支援システムです。 昨年特許申請、 今年国際特許申請を行い、 本年4月より当協会認定事業者の TDN インターナショナル（株）にてサービスを開始しました。

商品を使う側に負担はありません。

モバイルやタブレットなどのカメラ付きの機器では無料で QR コードリーダーアプリを利用できます。 消費者はこれを利用し、 ネット環境に接続されていればいつでも商品に表示されたこの専用の QR コードから最新のトリセツを閲覧できます。 さらに万一その商品がリコールなどになった場合、 その該当品かどうかもこの QR コードで確認できます。 もちろんオークションなどの中古市場にても常に実際の利用者がリアルタイムに確認できます。

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2015年4月号

PL対策に関する知識確認ができる検定

PL対策のプロになりましょう！

最新のPL対策を広く社会に普及するために、当協会ではPL検定を行っています。PL検定を受験していただくことで、企業防衛ではない、正しいPL（製造物責任）を理解できます。さらに、この検定に合格すると、1年間は当協会の会員として初年度は会費無料となり、その間に更なるステップアップとテクニカルデザイナー、PLアドバイザーの資格を取得することができます。

自営の保険代理店やコンサルティング、デザイナー、又社内研修に活用し、最新のPL対策を前面に押し出した営業活動が展開できます。PL法施行後20年たっても専門家不在の新らしい市場が待っています。

3級　4,800円(税込)

PL対策の基本です。webで随時受検できます。
社会人として今では不可欠になった消費者安全についての最も基本的な知識をこの検定で確認できます。企業研修として、また新たな自己のスキルアップ、最新の消費者保護政策などを理解するために活用されています。合格されると当協会の準会員として登録され、専門講習や会員交流などの場に参加できます。

2級　38,000円(税込)

3級の基本をクリアした方が、より専門的な知識を習得します。テクニカルデザイナー、PLアドバイザーの資格を取得する為の資格です。
取扱説明書を制作しているデザイナーやPL保険を扱う保険代理店、企業内で製品事故や品質管理、社内規定に関わるような専門性を求める方、豊富な経験を活かし転職や独立する方々などが受験しています。
合格されると当協会の正会員として登録され、専門講習や会員交流などの場に参加し、実際の実務などの相談などができます。

1級　インストラクター資格

まずは2級に合格し、専門講習を受けてください。
2級を合格し、当協会の会員として実績を積まれた方が、指導者として協会の進めるPL対策を企業内や社会に普及啓発を行い、その実績を協会が認めた方です。正会員会費が免除されます。

受検方法

3級はwebで受検です。「PL検定3級申込フォーム」からお申し込みいただき、受験料ご入金後、テキストと問題が送付されます。
2級は「PL検定2級申込フォーム」からお申し込みください。筆記試験になります。
1級は理事会にて、活動状況を見て認定します。

詳しくはこちら
http://www.jtdna.or.jp/pl-kentei/

新潟県三条市での3級検定…地元企業の社員の皆さんが受検しています。

PL対策で営業力を高めましょう。

小林孝夫インストラクター

製造、卸・小売を問わず、事業に携わる者にとって、PL検定を受検する事は、自分自身がPLの概念どれだけ理解できているのかを確認できる良い機会です。
事業者にとって製品安全について考える土台となり、消費者保護政策時代の営業力を高めます。

学生たちにPL対策の基礎を

東北工業大学　中島敏教授
ライフデザイン学部
安全安心生活デザイン学科

グローバル社会に出て活躍する学生たちに、最新のPL対策の基礎を学ばせ、即戦力を期待する企業に送り込んで参りたいと考えております。また、デザイナーにとって唯一の資格である「テクニカルデザイナー」の資格取得にも挑戦させたいと考えています。

PL検定例題

【例題】
設計上、現在の技術力では回避できないリスクが存在する場合、そのリスクを回避するための注意を記述することは、取扱説明書の重要な役割のひとつである。
【正解】○
【解説】
例えば電気製品には、設計等では回避できない「電気リスク」があります。これを取扱説明書に明記し然るべき注意喚起を行ったかどうか―そこに取扱説明書の≪質≫が表れます。そして何よりも、PL対策への取組みの≪本質≫が問われるのです。PL検定の受験を通して、「正しい製品情報」を的確に伝えるツールを身につけてください。

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

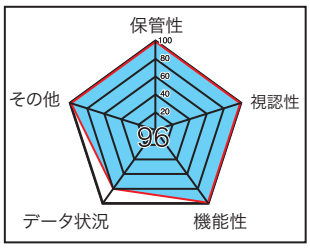
JTDNA®
PLnews
2015年4月号

取扱説明書を検証し評価します

検証プログラムの運用

従来、デザインや形の見えない PL 環境等は「抽象的な評価」は得られても「具体的な機能性・実効性」などを評価する方法がありませんでした。また誤使用に影響する「正しい使用方法の表示」や企業の「CSR などの経営品質評価」もデザインとは無縁と思われていました。そこで当協会ではこれらを客観的に評価検証するプログラムを運用し客観的な評価方法を確立しました。PL 検定2級に合格し所定の講習を修了すると所定の条件下で使用できます。

取扱説明書検証プログラム

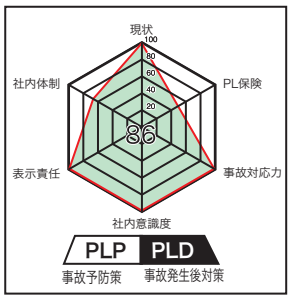


取扱説明書ガイドラインとの相関での成果判断を行います。曖昧になりがちなデザイン成果物をグラフとポイントで評価する事ができます。改善の方向性も判り易く、テクニカルデザイナーが使用し、品質管理部署などでも製品評価に利用しています。

※簡易プログラムを協会サイトに用意しています。ご自由にご活用ください。

http://www.jtdna.or.jp/web_torisetsukenshou.html

PL 環境検証プログラム



PL 対策の実情をグラフ化、ポイント評価する事で、PL 対策の改善の方向性が定まります。当協会の PL アドバイザーが主に使用し、導入成果などの客観的判断や小売り事業者の仕入れ先の PL 対応力査定に利用されています。

取扱説明書の証明書とエビデンス発行

当協会の認定事業者（※1）により評価結果が所定の評価を得た取扱説明書について、当協会では認定事業者の取り次ぎで、その結果を証明しその証として証明書と証明印（エビデンスコード）を発行します。

特に複数の流通小売り事業者に販売される場合は、その販売先に対し、その取扱説明書の成績をエビデンスとして活用できます。

品質基準にこの協会のガイドラインを採用されている事業者の積極的な PL 対策の取り組みを証明することにより、PL 対策意識の高い事業者としてアピールすることができます。

また、後日製品事故や内容の見直しをする際もこの協会を通し、認定事業者にそのデータの提出を求めるなど、事業者負担軽減に繋がります。

リコールなどが ISO でも開示され、今後のアフターマーケット戦略には大変重要になる取扱説明書データの長期的視点での品質査定にも使用できるため、注目されています。

証明書見本

JTDNA®
MVB110150310000001

エビデンスコード見本

jtdna 証明印発行 検索

詳しくはこちらをご覧ください。

※1 認定事業者
当協会の取扱説明書ガイドラインの達成率を評価できる体制などを第三者委員会である「認定委員会」で審査を受け、合格した賛助会員には、認定証が発行され、協会より検証や制作などの紹介を受けることができます。
また証明印の申請代行など、今後、当協会の一般事業を引き受けることが出できる事業者です。

事　務　局　だ　よ　り

今号は、年一回のシンポジウムにあわせて、協会活動の全般を紹介する内容にしました。
web サイトには及びませんが、全体を網羅できたのではないかと思います。
2015年新年度もよろしくお願いします。
・5月連休のお知らせ
5月2日（土）～5月10日（日）まで
お休みをいただきます。

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.